

「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」（案）

日 時：令和5年 未定

*コアメンバーと日程調整

*コアメンバー（令和4年度）：

函館市地域包括支援センター連絡協議会：福島 久美子様

道南在宅ケア研究会：廣瀬 量平様

函館地域医療連携実務者協議会：奥山 ちどり様

一般社団法人 北海道MSW協会南支部：岩城 朋美様

函館市居宅介護支援事業所連絡協議会：高橋 淳史様

道南訪問看護ステーション連絡協議会：高橋 陽子様

開催方法：集合開催

参加人数：40名ほど

研修形態：事例をもとに、グループワーク

参加者（案1）

職種を均等にして参集する

*退院支援看護師（ ），包括（ ），居宅（ ），訪問看護師（ ）
ワーカー協会（ ），病棟看護師（ ）

（案2）

職種の均等はせず参集する

テーマ：（仮）病院と在宅でのイメージの共有

できるADL, しているADL・・・何が違うの？

目 的：入退院の際に、関係職種が協働し情報提供を行う事で、一体的でスムーズな医療・介護サービスが提供され、患者・利用者が希望する場所で望む日常生活が過ごせるようになる

目 標：・ガイドの内容を通じて、適切な入退院支援の連携の在り方を考え、入退院支援に関わる職種間で相互理解ができる
・研修での学びを通じて、明日から入退院支援に係る連携を強化できる

構 成：・事例紹介

*事例提供者：未定

・グループワーク：事例をもとにガイドに沿ってディスカッション